いろいろな教科を英語で言えるようになろう。

目標：教科の言い方に興味を持ち、時間割の作成を通して、「What's this ?」「What subject is this?」の質問文に対して「It's～」と応答する表現に慣れ親しむ。

使用表現等

・What's this? / What subject is this?/ Math, English, Japanese, Science など

授業準備

＜ICT環境＞

・Windowsパソコン
・デジタルテレビ
・ワイヤレスマウス

＜テンプレート教材＞

・ Three Hint Quiz

撮影校
相模原市立　東林小学校　５年　木村級

あいさつ

全体にあいさつをする。

T：Hello！How are you?
S：I'm fine thank you.

これまで使ってきたさまざまな答え方を使うよう促す。（I'm good. hungry, great,など）
何人かの子どもとやりとりする。

・学習の雰囲気をつくる

Let‘s sing. 「Head, Shoulders, Knees and Toes」

復　習

What's this などの会話文を確認する。

前回までに学習した会話を、実際に質問して応答の仕方に慣れさせる。

・What's this?
・Who's this?
・What subject is this?
・It's ～.

教科の英語での言い方を確認する。

イラストを見せながら、教科の表現を繰り返し学習する。
Japanese, Science, Math, Homemaking, Arts, PE, Social studies, English, Music.

・国語（読書や習字を含める）
・図工（絵画や工作を含める）
・家庭科（料理や裁縫を含める）

ICTの利用・アクティビティ1

テンプレート教材を使って、子どもたちが用意した教科当てクイズをする。

子どもたちが事前に撮影した教科に関する物の写真をデジタル教材に組み込み、クイズゲームをする。クイズがスムーズに行われるよう、必要な場合は機械操作の補助をする。

ヒント1：「What's this？」
ヒント2：「What's this？」
ヒント3：「What's this？」
全てのヒントを出し終えてから、「What subject is this?」と質問。
「It's ～」で応答する。

（使用教材：Three Hint Quiz）

ICTの利用・アクティビティ2

スペシャル時間割を考えよう。

学んだ教科の名前を使い、自分でスペシャル時間割を考え、前に出て発表する。

また、どうしてその時間割にしたのかを尋ねる。

What subject do you like?
I like～.

潤水都市 さがみはら

文部科学省委託事業